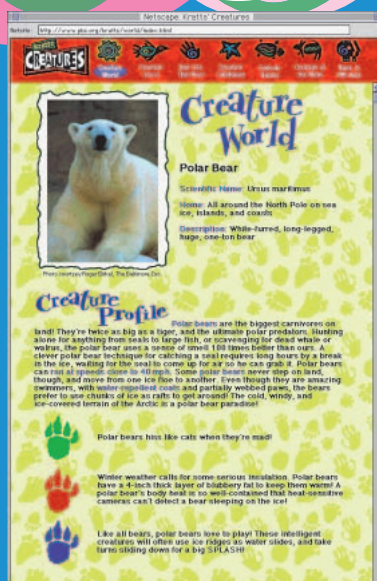
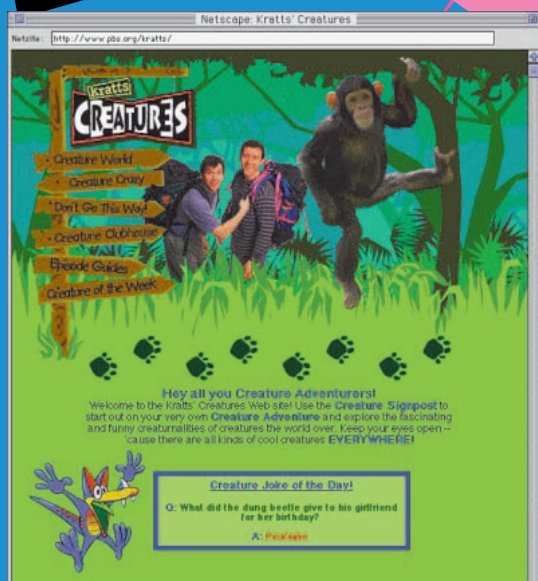


What's Cool

今泉 洋の



アメリカの子供番組 ポップでワイルドなクラッツ兄弟の動物探検

Kratts' Creatures

URL <http://www.pbs.org/kratts/>



最近のテレビは安上がり
のバカ笑いバラエティーば
っかり面白くないな〜、と思
いながらつつい見中で、
「これならまあ許せる」のが
自然モノ。でも、ゲストが出
てきてチープなコメント入れ
るのはカンベンだなあ……
とそんな時に見つけたのが
これ。
マーティンとクリスのクラ

ッツ兄弟がホストをつとめ
る米国の公共放送局 PBS
の子供向け自然番組
「Kratts' Creatures」のペー
ジである。
ポップなデザインからして
いかにも楽しげ。内容は番
組とリンクした世界各地の
動物や自然の紹介を中心に
したもので、「Kratts TV」で
はVivoあるいはVDOLiveの

プラグインを装備していれ
ばビデオのショートクリップ
を見ることができるほか、自
分で冒険旅行をデザインし
ていくページも用意されて
いる。
執筆時点ではまだ
「Coming Soon!」のページ
も多いが、今後がとても楽
しみなページ。そのうち日
本でもやってくれないかな？

今回紹介したサイトガイドがリアルオーディオで聞ける!

「What's Cool Radio」

URL <http://home.impress.co.jp/magazine/inetmag/radio/>

インターネットマガジン / 株式会社インプレスR&D

©1994-2007 Impress R&D

INTERNET magazine 1997/11 313

力入ってます 先進のショッピングサイトを毎日紹介

coolshopping.com

URL <http://www.coolshopping.com/index.phtml>

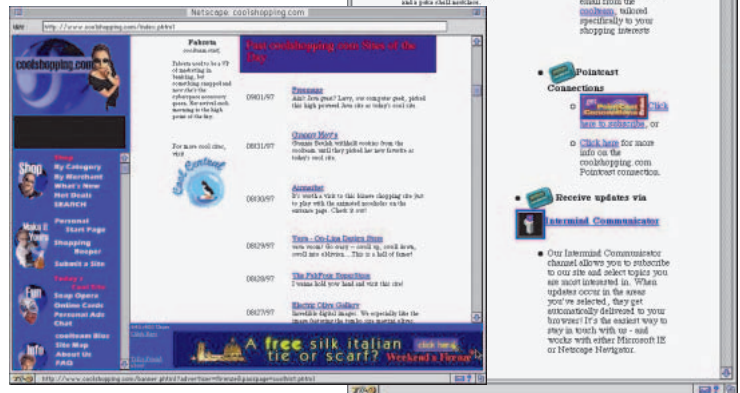
このページをはじめとして世の中にはいろんな「クール・ガイド」があるが、まさかここまで……と思われたのがクールなショッピングサイトを集めたこのページ。その名も「Coolshopping.com」。

とりえずグラフィック的に面白いウェブやカテゴリ別のショッピングページの紹介ならなんとかなりそうな気もするが、「Site of the Day (日替わりおすすめサイト)」まであるとは、この先やっつけけるんだろか。と他人ごとながら気にかかる(職業的強迫観念?)。それとも、それく

らい米国のショッピングサイトのレベルが高い?

このほか、パーソナライズ機能やお目当てのグッズが見つかったときに知らせてくれる「ビーバー(ポケベル)」機能も加わり大充実。

どれだけクールかはピックアップされたサイトをじっくりチェックしていくしかないが、まだまだインターネットでのショッピングに不安がないとも言えない昨今、カッコだけでもクールにウィンドウショッピングしたい人にはぴったりのウェブである。



いつもお世話になってます 家庭の必需品、洗濯機の先祖を見る

Antique Washing Machine Museum

URL <http://max.cnr.colostate.edu/>

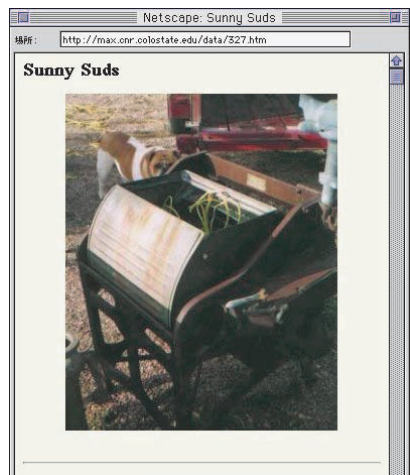
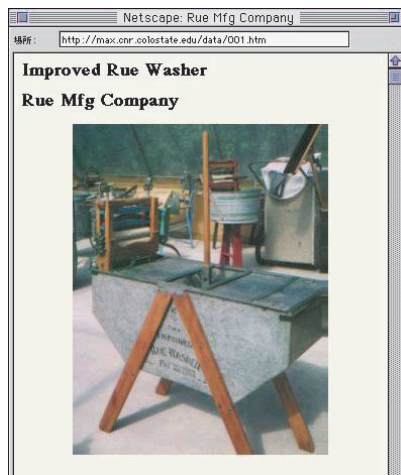
以前紹介して好評を得たトースターミュージアムに続く、古き良き家電製品シリーズの第2弾……というにはあまりにも古すぎるような気もするが、なんと収蔵点数600以上というリー・マクスウェル氏の洗濯機コレクションである。

今やキッチンセット組み込み用の洗濯・乾燥自動ドラム式なんていうものも登場し、

どこにあるのか分からないほどスマートになってしまった感のある洗濯機。それに比べると20世紀初頭ごろの木製の代物は、いかにもごつく、タライに洗濯板のセットでゴシゴシの痕跡を色濃く残している。これを見るだけでも、洗濯という日常作業がいかに重労働だったかがうかがい知れて、その時代の女性に生まれ

なくてホントによかった、と筆者は思うのである。

洗濯機レストアはきわめて経済的、かつ面白い趣味と語る氏は、このほかにも真空掃除機(なんていう直訳風な言い方はしないか?)のコレクションも持っているの、この手のコレクションが紹介される日も近いかもしれない。





ちょっと気になる他人のサイフ (もちろん中身のほう) Welcome To "What's Inside Jeremy's Wallet?"

URL <http://www.inforamp.net/~xeno/wallet/>

突然だが、あなたは財布を拾ったことがあるだろうか？残念ながら筆者にその経験はない。銀行のカードやクレジットカードがポピュラーになった今、財布の中身を見てその人の経済状態が分かる、とは言い切れなくなってしま

ったが、それでもその人がどんな生活をしているのかが、財布から想像できたりするのではないか……なんてことに応えてくれるのがカナダ人のジェレミー・ウィルソン氏のこのページ。

このウェブでは彼の財布の中身を公開しているのだが、実はほとんどがカードの類。ATMカードからクレジットカード、身分証明書、健康保険

証、電話カード、航空会社やビデオレンタル店のメンバーズカードなどなど、各アイテムに書かれているコメントも面白い。しかし、財布じゃなくてカードのウェブかと思えるほど、まさにカード時代を象徴するお財布公開ではありません。それにしても文明国で快適に生きていくためには平均何枚くらいのカードが必要なんだろう？

やっぱ英語っていいよね～、と思わずにはられないのが、カッコいいフォントを使ったウェブやこんなページに出会った時。なんとなくこのコラムに無料のフォントページが多く登場するのも、筆者がそんな趣味でなおかつケチであるからにほかならない。

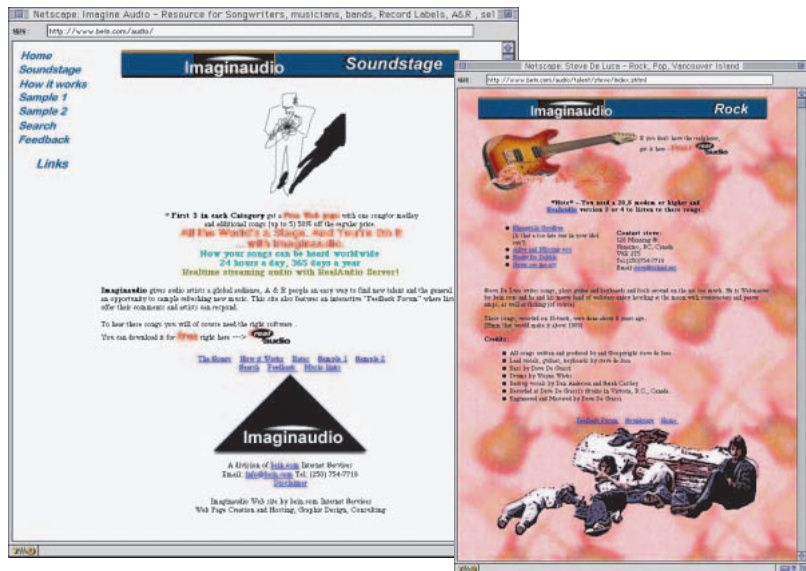
というわけで、このページに収められているのは30種類以上のフリーフォント。無料とはいえ、ちゃんとマッキントッシュ用とウィンドウズ用がそろっているところもグッドだが、ネーミングも「ハールポップ彗星」「性病」「キウイ」、メキシコのプロレスラー「ミル・マスカラス」など、ワケの分からないものが勢ぞろい。どうやらこの人、ミュージシャンの

書いた文字をフォント化するというのが趣味らしく、ソウル・コフィンやモーフィン、ニコール・ブラックマンといった名前の付いたフォントへのリンクもある。もちろん有料のフォントライブラリーも付いている(というか、こちらのほうが本業)わけで、プロから見ると、ちゃんとしたフォントは有料のほうにしかないよということになるんだろが、ちょっと変わったフォントでドキュメントを作って気分転換してみるのも悪くない。

暴れたドキュメントを作りたいなら、フォントはこちら Chankstore Freefont Archives

URL <http://www.chank.com/freefonts.html>





ミュージシャン必見 ウェブページとリアルオーディオファイルが先着3組までフリー!
 Imagine Audio - for Songwriters, musicians, bands, A & R managers
 URL <http://www.bein.com/audio/>

かの有名な「IUMA (http://www.iuma.com/)」の成功にみるように、インターネットの黎明期からウェブと音楽というのは密接な関係にあったが、ここに来てこれを追いつけようというニューカマーが登場した。それがこの Imagine Audio。
 自分たちの音楽をウェブでアピールして、世界のひのき舞台にデビューしたいというミュージシャンのための「バーチャル・サウンドページ」、つまりリアルオーディオ付きレンタルウェブ・サービスである。標準メニューでは、1曲分のリアルオーディオファイルと連絡先、バイオグラフィーとクレジットおよび写真などが

掲載でき、さらに自作CDをセールしたり、リスナーからのコメントを受け付けたりするコーナーもある。
 サイト内に設けられたオルタナティブ、ブルース、ケルティック(?)、カントリー、フォーク、ジャズ、ポップ、ロックの各ジャンルごとに申し込み順3組まで無料でウェブページと1曲分のリアルオーディオファイルを提供するなど、なかなか挑戦的なアプローチには好感が持てる。まだスタートしたばかりで大成功間違いないし、と言い切るわけにはいかないが、ちょっとお高くなった感じのあるIUMAよりは親しみが持てそう。

前衛音楽の復活? IPアドレスによるフラクタルミュージック

The Music of the Internet

URL <http://www.forwiss.de/~kinderma/musinum/InternetMusic.shtml>



このページにアクセスしてちょっと待つだけで、自分のIPアドレスに応じた曲を流してくれるというアバングアルドなページである。
 書かれている解説によると、「Musinum」というフラクタルアルゴリズムによる作曲プログラムがIPアドレスを音楽に変換しているだけ、とのこと。流れてくる音楽は……う〜ん、ランダム

のよういてそれなりに音楽になっているような、これがフラクタルミュージックってやつ? 自分だけでなく、直前にアクセスしたユーザーのデータも残されているので、これを聴いてみたり、自分の曲と一緒に鳴らして相性を聴いてみたりするという楽しみもある。
 ほとんど無用のサービスとも言えるが、まずは話のネタに一度はアクセスしてみよう。



このところの話題はなんといっても「プッシュ」だそうである。専用線接続がそれほどポピュラーでない日本の状況では、なんとなく話題先行・空騒ぎという感じがしなくもないが、どうやら年末までには日本でも本格的なサービスが開始されそう。となると、まずチェックを入れておいても損はないのがこのサイト。
 ニュースやエンターテインメント、旅行/ライフスタイル、スポーツ、教育、ビジネス/科学/テクノロジーといった各チャンネル

やライブイベントなどのガイドが収録されており、このサイトから直接各チャンネルのサブスクライプができるようになっている。
 IE 4.0やネットキャスター、ポイントキャストはもちろん、米国ではポピュラーになりつつあるインターマインド、カスタネットチューナー、ダウンタウンといったソフトウェアのダウンロードもできるようになっているほか、プッシュコンテンツのサーチエンジンも装備しているので、プッシュ系はこれでバッチリというわけ。

ついに登場 プッシュ系コンテンツ専門のチャンネルガイド

Phlip! - Your Active Channel Guide

URL <http://www.phlip.net/>

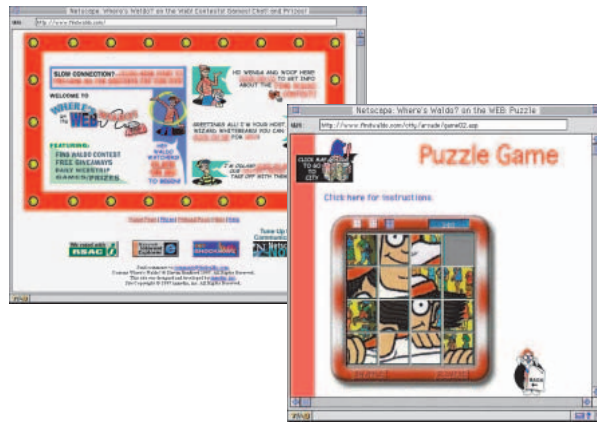


そういえば一時流行ったよね、と思わずニコリのウェブである。ご存じでない方のために説明しておくと、同じようなカッコをしたキャラクターがいっぱいの画面の中から、メガネをかけ、横ストライプのTシャツに帽子の「本物のウォーリー(Waldo)」を探し出すという、言ってみれば非常に単純、でも変にクセになるゲーム絵本が「Where's Waldo? (ウォーリーを探せ)」。このゲームがついにウェブにも登場というわけだ。

さすがに神経衰弱的絵本をベースにただけあって、グラフィックスも細かく、

ところどころがGIFアニメになっているという凝り方。メインイベントはスポンサーのウェブサイトでウォルドを探し、景品が当たるというゲームだが、そこまでマジにならなくてもこのサイトにあるゲームやコミックだけで十分楽しめる。

このほか、お持ち帰りのできるゲームやアイコン、音声ファイル、塗り絵、お約束のポストカードなどフリービーも揃っていて、さらに低速回線でアクセスしているユーザーのために、あらかじめグラフィックパートをダウンロードしておくサービスがあるのも気が利いている。



ウォーリー、豪華なお土産持参でウェブに登場

Where's Waldo? on the Web! Contests! Games! Chat! and Prizes!

URL <http://www.findwaldo.com/>



世界初の本格的国際ラリーとして北京=パリ・ラリーが開催されたのが1907年。それ以来、数多くのドライバーが過酷な条件に挑戦して来ているが、今回、9月6日から45日間、16000kmの陸路に挑もうとする米国の不動産屋さん、レイ・カー氏のこのような人は多くないだろう。

彼は御歳72歳の高齢者、しかも乗るクルマが1939年製のフォード・コンバーチブル・セダンという、まさにビンテージな組み合わせ。ウェブでは、北京=パリ・ラリーの歴史などの情報のほか、収益の一部がアメリカ赤十字に寄付されるというこのチャリティーイベントの様

様が逐一報告され、さらにカー氏に励ましのメールを送ることもできる。ドライバー、クルマとも高齢な組み合わせ……なんとも無謀とも思えるが、「これが冒険ってものさ」と言われれば返す言葉もない。こういう老人になってみたいものである。

60歳のクルマと72歳の人間が挑む北京=パリ・ラリー45日間

Ray Carr's Peking to Paris Challenge benefits the American Red Cross

URL <http://www.raycarr.com/>



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレス R&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接的および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社**インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp